

出雲河下港振興ビジョンの策定について

出雲河下港振興会（会長：出雲市長）では、出雲河下港の利活用の方向性を示す「出雲河下港振興ビジョン」を策定しましたので報告します。

1. 出雲河下港の概要

出雲河下港は、中国地方唯一の「特定地域振興重要港湾」であり、生コン用骨材となる石灰石の移入、島根県西部の浜田市から鳥取県西部の米子市まで約15万世帯に供給するLPGの移入などを取り扱う、県東部の重要な物流拠点です。また、耐震強化岸壁や防災緑地が整備された防災拠点としての機能も有しています。この度、県において平成21年度から整備を進めてきた沖防波堤が完成間近となり、これにより港内の静穏度が確保され、荷役効率や入出港時の安全性が向上します。さらに、耐震構造による第4号岸壁整備が新規事業採択され、令和5年度から県において事業が進められることから、今後ますます港湾の利活用が期待されます。

2. 出雲河下港振興ビジョン《別冊のとおり》

(1) 目的

出雲河下港の港湾機能の強化に合わせ、現状や課題を整理し、その解決に向けた取組方針を定めることにより、ハード、ソフト両面から効果的な整備を進め、港湾のさらなる利活用を促進する。

(2) 内容

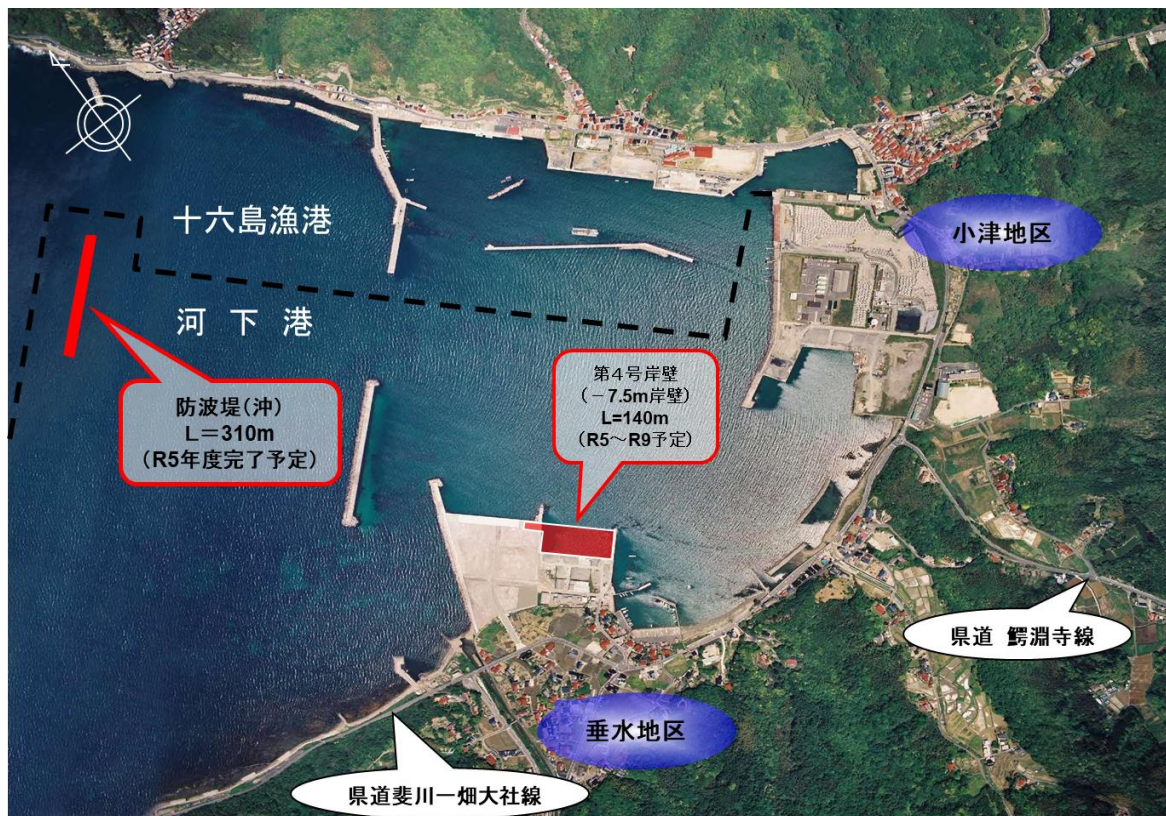
出雲河下港の将来像について、以下のとおり3項目を基本方針とし、項目ごとに基本戦略を掲げ、短期・中期・長期的な利活用策について具体的な取組内容及び達成目標を定めた。

基本方針	戦略・取組内容
(1) 物流・産業『出雲地方の産業・生活を支える港湾』	
	1-1 貨物の増加に対応した物流機能強化
	1 取扱貨物の増加に対応した岸壁・泊地・野積場の整備
	2 物流機能強化にあわせた港内静穏度の確保
	3 新規貨物の取り扱いに対応した上屋・荷役機械整備
	4 斐川ICから出雲河下港までのアクセス道路の改良整備
	5 企業への訪問、企業立地セミナー等を活用したポートセールス
	1-2 脱炭素社会の実現に貢献する港湾の形成
	1 再生可能エネルギー発電事業者の誘致
	2 再生可能エネルギーを用いた施設導入
(2) 防災『災害時に出雲地方の人々の安心な暮らしを維持する港湾』	
	2-1 船舶の大型化に対応した防災機能強化
	1 船舶の大型化に対応した岸壁・泊地整備
	2 災害時の船舶避難場所としての港内静穏度の確保

	2-2 大規模災害時の拠点としての機能強化
	1 常設ヘリポートの整備
	2 海上自衛隊艦艇の物資補給基地の誘致
(3) 人流・賑わい『豊富な観光資源と自然環境を活用し人々をつなぐ港湾』	
	3-1 クルーズ船の受入体制の強化・環境整備
	1 クルーズ船の誘致
	2 3万トン級のクルーズ船に対応した環境整備
	3-2 来訪者や市民が親しめる親水空間の創出
	1 マリンレジャーが楽しめる親水施設整備

《参考》

○出雲河下港の整備状況



○出雲河下港振興会について

- ・沿革 港湾の利用促進、地域経済の発展を目指し、平成22年5月に設立
- ・事業 広報宣伝・ポートセールス・情報収集事業
- ・構成 会長：出雲市長 副会長：平田商工会議所会頭
 監事：出雲商工会議所会頭、斐川町商工会会長
 顧問：島根県議会議員（選挙区：出雲、仁多、雲南・飯石）
 会員：島根県、出雲市議会、島根県農業協同組合（出雲、斐川地区本部）
 河下港港湾利用者の会、十六島港整備促進連絡協議会
 賛助会員：雲南市、奥出雲町、飯南町の自治体、議会、経済団体、
 島根県農業協同組合（雲南地区本部）